

【対象：2011年1月～2013年12月の3年間に初回の経皮的冠動脈インターベンション(PCI)あるいは冠動脈バイパス手術(CABG)を施行された患者様へのお知らせ】

当院では、近畿大学医学部奈良病院倫理委員会の承認を得て、「日本における経皮的冠動脈インターベンション(PCI)および冠動脈バイパス手術(CABG)のレジストリー(コホートIII)」を行います。

本調査研究は、本邦で第2世代薬剤溶出性ステント(DES)が登場した後の2011年1月から2013年12月の3年間に、初回のPCIあるいはCABGが施行された症例を登録後、3年間の追跡調査を行い、死亡、心筋梗塞、脳血管障害、ステント血栓症、出血、心不全入院、再血行再建などの発生を評価項目として治療成績を評価し、治療実態の把握、治療成績の評価および治療成績に影響を与える因子を探索するとともに、先行研究であるCohort-I、Cohort-II研究と比較することで、本邦における冠血行再建術の経年的な変化を評価することを目的としています。

2011年1月～2013年12月の3年間に初回の冠血行再建術を施行された患者様を参加施設において連続症例で登録します。初回の冠血行再建術とは、経皮的冠動脈インターベンション(PCI)あるいは冠動脈バイパス手術(CABG)のいずれも含むすべての初回冠血行再建術と定義します。ただし急性心筋梗塞例についてはPCIあるいはCABGの既往のある患者様も登録します。

(急性心筋梗塞の症例の定義は発症後1週間以内に治療(CABGあるいはPCI)を受けた患者様とします。)

調査方法は優先度の高い順に、①診療録の確認、②患者様への連絡、③紹介医への連絡によるものとします。なお、患者様への直接連絡は該当施設での死亡(他科入院時も含めて)の無いことを確認した後にを行います。患者様への連絡によりイベントの発生が疑われた場合には、担当医療機関に連絡をとり詳細を確認します。患者様への直接連絡は原則として各施設の担当医が行います。

当院での調査期間は2015年1月から2025年3月までの予定です。

1. 本研究は治療に関する介入はなく、人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。
2. 試験への不参加や、参加取りやめを希望される方は下記までご一報くださいますようお願いいたします。情報は削除されます。

問い合わせ先：近畿大学医学部奈良病院 循環器内科 教授 城谷 学

TEL：0743-77-0880

FAX：0743-77-0890